平成11年　人口動態統計の年間推計

平成11年の年間推計の数値は，人口動態統計速報の平成11年１月から10月分までを基礎資料として，日本における日本人について推計したものである。

人口動態総覧，前年比較

	実数			率		平均発生間隔	
	平成11年(A)	平成10年(B)	差(A)−(B)	平成11年	平成10年	平成11年	平成10年
出生	1,175,000	1,203,147	−28,000	9.4	9.6	分27秒	分26秒
死亡	985,000	936,484	49,000	7.9	7.5	32″	34″
自然増加	190,000	266,663	−77,000	1.5	2.1	…	…
死産	39,000	38,988	0	32.1	31.4	13′29″	13′29″
婚姻	773,000	784,595	−12,000	6.2	6.3	41″	40″
離婚	249,000	243,183	6,000	1.98	1.94	2′07″	2′10″

注：平成10年は確定値である。
出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対，死産率は出産（出生＋死産）千対である。
率算出に用いた人口：平成11年10月１日現在推計日本人人口　125 470 000人（総務庁統計局推計の同日現在総人口（概算値）から，人口動態統計課で試算）

1　出生数は減少

出生数は117万5000人で，平成10年の120万3000人より2万8000人減と推計される。
出生率（人口千対）は9.4となり，平成10年の9.6を下回る。

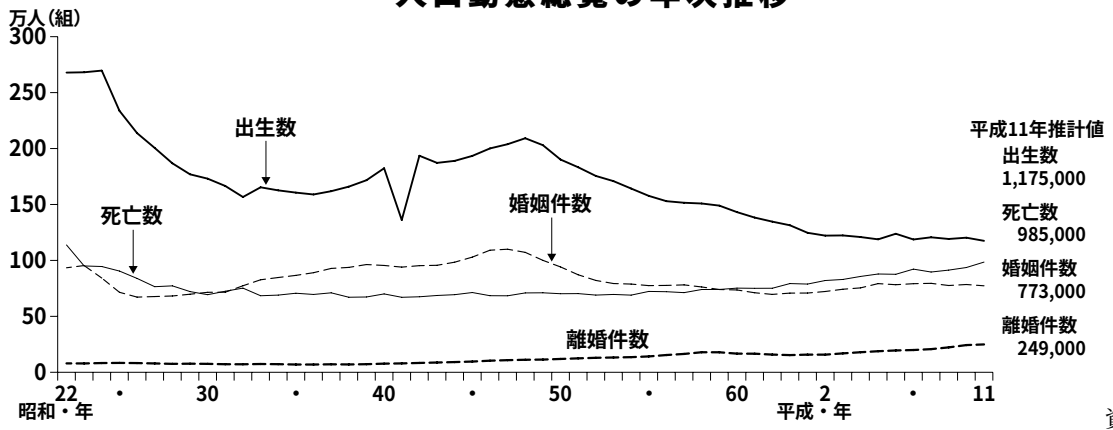
2　死亡数は増加

死亡数は98万5000人で，平成10年の93万6000人より4万9000人増と推計される。
死亡率（人口千対）は7.9となり，平成10年の7.5を上回る。
なお，３大死因の死亡数は，第１位が悪性新生物で29万人，第２位心疾患15万3000人，第３位脳血管疾患14万1000人と推計される。
また，死産数は3万9000胎，死産率（出産千対）は32.1と推計される。

3　婚姻件数は減少，離婚件数は増加

婚姻件数は77万3000組で，平成10年の78万5000組より1万2000組減と推計される。
婚姻率（人口千対）は6.2となり，平成10年の6.3を下回る。
また，離婚件数は24万9000組で，平成10年の24万3000組より6000組増と推計され，離婚率（人口千対）は1.98となり，平成10年の1.94を上回る。組数，率ともに過去最高である。

人口動態総覧の年次推移



資料：厚生省